



小坪小だより

9月号

横浜市立小坪小学校

校長 高田 桂太郎

横浜市港南区港南台4-11-1 電話 832-0617

子どもたちに学ぶ

校長 高田 桂太郎

長い夏休みが終わり、元気な子どもたちの声が学校に戻ってきました。中には、「もっと休みたかった。」と素直な思いを訴えてくる子もいましたが「その気持ち分かるよ。先生も休みたかったけど、みんなも頑張ってると思ったから来たよ。」と言うと、「校長先生も頑張ってる。」と言って、にこにこして教室に向かって行きました。

夏休み期間中、保護者や地域の皆様にも、子どもたちの安全・安心な生活のために、毎日の健康観察や地域の見守りなどをしていただき、本当に感謝しております。

学校でも、子どもたちの健康を第一に考えて学習活動を進めてまいりますので、ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

さて、今年の小坪小は、創立40周年です。その企画の一つとして、5、6年生の自然環境委員会とKSS(小坪っ子サポートシステム)の皆様が協力して、今まで使われていなかった花壇を「小坪かがやくフラワーガーデン」として復活させる活動を進めています。

5月、様々な草花の種を蒔いて、委員会の子どもたちを中心に、当番で花の世話をしていました。しかし、すごい速さで雑草が伸びはじめ、あっという間に成長中の草花の背丈を追い越し、気が付けば、一面雑草畑のようになっていました。私は、その状態を見て、正直「花が咲くのはちょっと難しいかな。」と思ってしまいました。ところがある日、6年生の子が、誰に言われるでもなく花壇の雑草を抜いている姿に気付きました。休み時間など、時間を見つけては少しずつ抜いているようでしたが、雑草の成長するスピードも物凄く、負けてはいませんでした。

そして7月、なんとその場所に花が咲いたのです。私は嬉しくなり、その花々を写真に収めました。また、一度はあきらめかけた花壇を復活させた子のひたむきな姿に頭が下がる思いがしました。



ある職員が「がんばったねえ。大変じゃなかった？」と尋ねたところ「べつに、趣味みたいなものだから。」と答えたそうです。なんともスマートで、さらに感動してしまいました。

その後も花は咲き続け、今も新たな花が咲き始めています。



私は、今回のことで、いつの間にか自分の常識で子どもたちを見てはいないかと改めて自分を振り返りました。こちらが「大変じゃないか」と思うことも、子どもたちは、もっと大きな心で充実感をもって取り組み、成長していることに気付きました。

これから、小坪小学校は運動会を始め、様々な活動が行われます。子どもたちに学ぶ姿勢を忘れずに、子どもたちを全力で応援していこうと気持ちを新たにしています。